

【別紙 2】「フレッツ・milエネお手軽パック(補助金対象)」機器の仕様一覧

(1)無線親機(EAD-2-ZiSE)

<本体>

項目		仕様
LANポート	ポート数	1ポート
	インターフェイス	100BASE-TX/10BASE-T オートネゴシエーション
	コネクタ形状	RJ-45 コネクタ
無線機能	準拠規格	IEEE802.15.4/ARIB STD-T66
	使用周波数帯	2.4GHz 帯(2405~2480MHz)
	セキュリティ	AES128bit
INIT ボタン		設定初期化用スイッチ
設定ボタン		ペアリング用スイッチ
外形寸法(mm)(スタンド含まず)		約 32(W)×120(H)×90(D)
動作環境		温度:0℃~40℃ 湿度:20%~85%(結露なきこと)
電源		AC100V 50/60Hz
最大消費電力		3W
質量		約 160g(電源アダプタ含まず)
適合認証		端末機器技術基準適合認証
電磁妨害波規格		VCCI クラス B

(2)分電盤計測器(ECP-2602-ZiSE)

<本体>

項目		仕様
無線機能	準拠規格	IEEE802.15.4/ARIB STD-T66
	仕様無線周波数帯	2.4GHz 帯(2405~2480MHz)
	セキュリティ	AES128bit
外形寸法(mm)	本体(突起部を除く)	約 70(W)×25(D)×100(H)
	ケーブル	長さ:約 300
動作環境		温度:0℃~40℃ 湿度:20%~85%(結露なきこと)
電源		単 3 形電池 3 本
最大消費電流		60mA
質量(電池含む)		約 170g
適合認証		特定無線設備技術基準適合認証 端末機器技術基準適合認証
電波妨害波規格		VCCI クラス B

<CT クランプ付ケーブル>

項目		仕様
外形寸法(mm)	CT クランプ (突起部を除く)	約 39(W)×23(D)×36(H)
	ケーブル	長さ:約 900
最大適用電流		60A rms
質量		約 120g

(3) 電源タップ計測器(ETP-1151-ZiSE)

項目		仕様
プラグ		2P(平行)プラグ
コンセント		2P(平行)コンセント 1 個口
定格		AC100V 15A
無線機能	準拠規格	無線機能
	使用周波数帯	2.4GHz 帯(2405~2480MHz)
	セキュリティ	AES128bit
外形寸法(mm)		約 53(W)×29(D)×67(H)(突起部除く)
動作環境		温度:0°C~40°C 湿度:20%~85%(結露なきこと)
電源		AC100V 50/60Hz
最大消費電力		0.5W
質量		約 70g
適合認証		特定無線設備技術基準適合認証 端末機器技術基準適合認証
電磁妨害波規格		VCCI クラス B

(4) フレッツ・ミルエネ専用端末(WDPF-703SE-E)

項目		仕様
無線機能	画面サイズ	7 インチワイド LCD
	解像度	800×480 ピクセル
	タッチパネル	静電容量式(マルチタッチ対応)
オーディオ	スピーカー	出力:約 1.3W + 1.3W、内蔵ステレオスピーカ
	マイク	モノラルマイク
	ヘッドフォン	ステレオ mini ジャック(Φ3.5mm)
外部インターフェイス	USB ポート	USB 2.0 Type A ×1、USB 1.1 Type mini-B ×1
	カードスロット	SD/SDHC メモリーカード対応 ×1
	赤外線ポート	IrDA ver1.1 (到達距離 30 cm, 通信速度 SIR/FIR) 準拠 IrSimple 準拠 IrSS 準拠
カメラ機能	本体背面 × 1(有効画素数:300 万画素、オートフォーカス)	
無線 LAN	IEEE 802.11b/g (WPS 対応)	
Bluetooth	Bluetooth(R)Specification Ver.2.1+EDR	
電源	電源アダプター	入力電圧:AC 100 V、50/60 Hz 定格電力:DC 5.0 V 3.0A
	電池パック	リチウムイオン 2 次電池 DC 3.7 V 2840 mAh
消費電力	最大約 15W	
動作環境	温度:5~40°C 湿度:20~90% RH(ただし結露しないこと)	
寸法	約 195 mm(W) × 約 17 mm(D) × 約 132 mm(H)	
質量	約 490g(電池パック含む)	
OS	Android2.2 相当	
本体メモリー	4GB※	
バッテリー駆動時間	満充電から約 4 時間以上	
防水機能	JIS 規格 IPX4(防沫形)	
GPS 機能	あり	
コンパス機能	あり	
加速度センサー機能	あり	
Flash ファイル表示	表示対応	
PDF ファイル表示	表示対応	

※本体メモリの容量の一部はシステムが稼動するためのシステム領域として使用されるため、それ以外の容量が実際にご利用いただけるユーザ領域となります。